

第3章 エゾシカおよびヒグマ対策に関する広報・普及啓発業務

3-1 エゾシカおよびヒグマのホームページ作成

3-1-1 エゾシカホームページの作成

(1) ホームページ作成の目的

札幌都市部のエゾシカ出没問題に対して、出没情報を含めたホームページコンテンツを公開することにより、市民の意識向上を図り、事故を未然に防ぐことを目的とする。

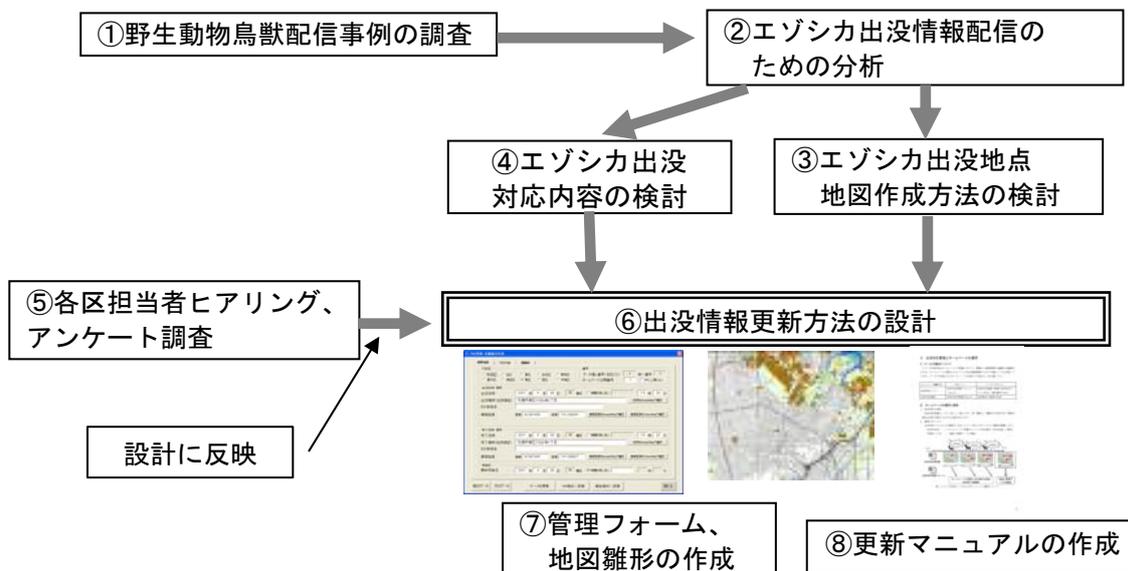
(2) ホームページ作成の概要

本業務では、大きく分けて以下の2つの内容で作成を進めた。

- ①エゾシカ出没対応ホームページの検討、および作成
- ②エゾシカ対策ホームページコンテンツの作成

(3) エゾシカ出没対応ホームページの検討、および作成

エゾシカ対策ホームページの検討および作成フローを図に示す。類似事例や分析を行いつつ、更新手法を検討各区のヒアリングを反映させ、更新負荷が少なくなるよう、管理フォームや地図、マニュアルを整備した。



(4) エゾシカ対策ホームページコンテンツの作成

過去エゾシカ出没地点の公開など、市民へ注意喚起を図りつつ、事故を未然に回避することを目的としてコンテンツを作成した。コンテンツにはイラスト、写真等を使用し子供でも分かりやすいようにした。



過去の出没情報



事故にあわないために



普及啓発リーフレットの配布

3-1-2 ヒグマホームページの作成

(1) ホームページ作成の目的

札幌都市部のヒグマ出没問題に対して、出没情報を含めたホームページコンテンツを再構成し、ヒグマとの事故を未然に防ぐこと内容を配信することを目的とする。

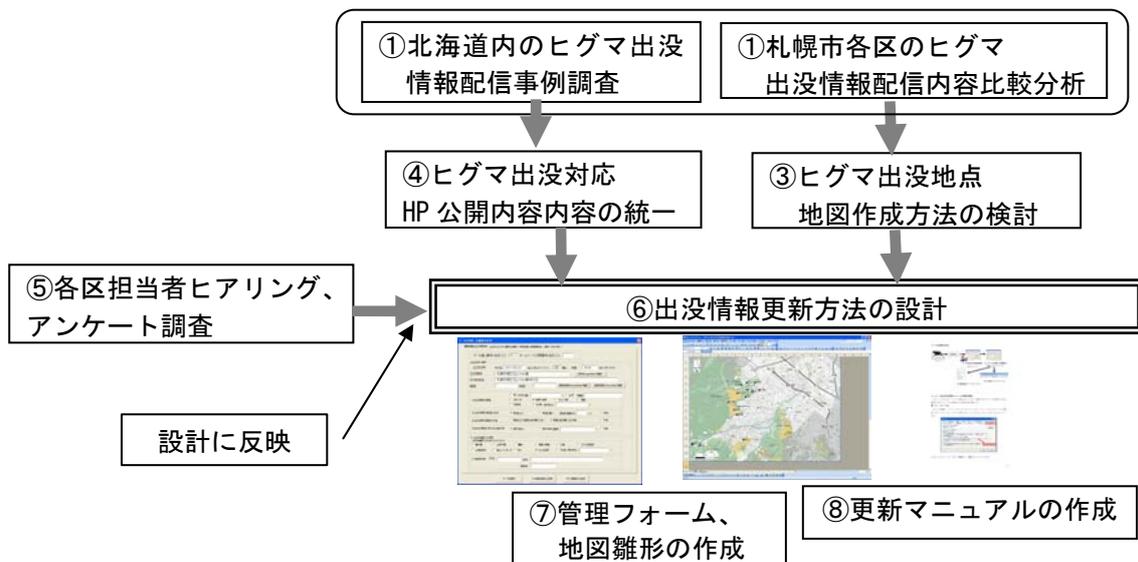
(2) ホームページ作成の概要

本業務では、大きく分けて以下の2つの内容で作成を進めた。

- ①ヒグマ出没対応ホームページの検討、および作成
- ②ヒグマ対策ホームページコンテンツの作成

(3) ヒグマ出没対応ホームページの検討、および作成

ヒグマ対策ホームページの検討および作成フローを図に示す。類似事例や各区で配信している現行のヒグマ出没情報の比較分析、問題点を整理しつつ、ヒグマ対応各区にヒアリングを行いその内容を反映させた。エゾシカ出没と同様に、更新負荷が少なくなるよう、管理フォームや地図、マニュアルを整備した。



(4) ヒグマ対策ホームページコンテンツの作成

過去ヒグマ出没地点の公開など、市民へ注意喚起を図りつつ、事故を未然に回避することを目的としてホームページコンテンツを作成した。フンや足跡の見分け方など市民が冷静に判断するための情報提供コンテンツも準備した。また、コンテンツにはエゾシカ対策と同様に、イラスト、写真等を使用し、子供でも分かりやすいようにした。



過去の出没情報



ヒグマに出遭わないために



痕跡の見分け方

3-2 エゾシカリーフレットの配布先の検討と配布

札幌市が印刷したリーフレットの配布先を選定し、これらの施設へ配布した。配布先施設概要と配布数の概要は以下のとおりである。

表 3-2-1 シカリーフレット配布先と配布数

区分	施設概要 ()内の数字は配布数	数(計)
札幌市役所・区役所	本庁舎(200)・区役所10ヶ所(各50)	700
札幌市関連施設	区民センター10ヶ所(各50)・地区センター・コミュニティセンター27ヶ所(各30)	1,310
札幌市内公園施設	札幌市内公園施設51ヶ所(各20)・円山動物園(100)	1,230
札幌市自然系施設	ふれあいの森・定山溪自然の家・青少年山の家(各30)	90
交通関連施設	道路情報館・運転免許センター・札幌トラックステーション(各50)	150
交通関連団体	北海道交通安全協会・日本交通安全教育普及協会・北海道交通安全推進委員会(各30)・NEXCO東日本・札幌レンタカー協会・北海道バス協会・北海道トラック協会(各50)・北海道開発技術センター(10)	300
ヒグマ講座	中央区(40)・清田区(20)・豊平区(40)・西区(71)	171
合計		3,951

3-3 エゾシカに関するラジオスポットCMの放送

市街地におけるエゾシカ出没の周知、エゾシカとの交通事故防止を図るため、ラジオスポットCM(コマーシャル)による広告を実施した。

(1) 周知対象

札幌市内の在住者、札幌市周辺を走行するドライバーを対象として、ドライバーは、車による通勤者、および運送業者やタクシー等の日常的に運転するプロドライバーが想定された。

(2) 放送内容

スポットCMは、20秒および30秒のものを制作した。20秒CMおよび30秒CMの原稿は以下のとおりである。

【20秒CM原稿】

札幌市からのお知らせです。
 ここ数年、街中にエゾシカが出没しています。
 住宅地や道路に突然現れることがあり、
 人も車も、注意が必要です。
 シカを見つけたら、クールダウン。
 あわてず、騒がず、近づかず。
 ドライバーは、特に、夜、注意してください。
 札幌市からのお知らせでした。

【30秒CM原稿】

札幌市からのお知らせです。
 ここ数年、街中にエゾシカが出没しています。
 住宅地や道路に突然現れることがあり、
 人も車も、注意が必要です。
 西区では、昨年、住宅地で、
 エゾシカが保護されました。
 エゾシカを見つけたら、人も車もクールダウン。
 あわてず、騒がず、近づかず。
 ドライバーは、特に、夜、注意してください。
 札幌市からのお知らせでした。

(3) 放送結果

スポットCMは以下の期間に放送した。

表 3-3-1 スポットCM放送一覧

	放送局	放送期間	放送時間帯	本数	合計本数
1	HBCラジオ	平成23年9月26日(月)から10月7日(金)	月～金 8:49	10	20
			月～金 15:59	10	
2	FMアップル	平成23年9月26日(月)から10月9日(日)	月～日 9:00-12:00	14	28
			月～日 17:00-19:00	14	
3	三角山放送局	平成23年9月26日(月)から10月7日(金)	月～金 7:00-9:00	10	30
			月～金 10:00-12:00	10	
			月～金 15:00-17:00	10	

※HBCラジオおよびFMアップルは20秒CM、三角山放送局は30秒のCMを放送した。

ほかに、パブリシティ放送も以下のようにおこなった。

表 3-3-2 パブリシティ放送一覧

	放送局	放送日	放送時間帯	時間	回数	備考
1	HBCラジオ	平成23年9月26日(月)「ちよいナビ」内	11:55-12:00	60秒	1	コメント読み
2	FMアップル	10月4日(火)「Apple Plus」内ゲストコーナー	10:30-11:00	30分	1	出演
3	三角山放送局	10月4日(火)「まちめぐりひとめぐり」	18:00-19:00	60分	1	出演
4	三角山放送局	平成23年9月26日(月)から10月7日(金)の平日の1日1回	9:00台～16:00台	5分	10	コメント読み

※パブリシティ：スポット CM の広告とは別に提供する広報（放送局側の便宜で時間枠が設定される）

3-4 市民向けヒグマ講座および農家向け被害防除の講座開催

3-4-1 ヒグマ講座の企画と運営

ヒグマ講座の開催にあたっては、ヒグマ出没地域の6つの区（南区、清田区、豊平区、中央区、西区、手稲区）の担当者と協議した結果、市民向けヒグマ講座を中心に実施することとなり、町内会、学校関係者および児童、一般市民を対象におこなった。広報および参加対象機関との調整を各区担当者が行い、講座内容の企画、運営を当事務所が行った。

【ヒグマ講座概要】

講座の内容は、各回とも以下の3つのテーマを設定した。

- ・ヒグマはどこにいるか？
- ・ヒグマはどんな動物か？ からだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性等
- ・ヒグマとの事故を防ぐには？

スライドによる説明のほか、写真あわせなどのクイズの導入、毛皮などの実物に触れる機会をつくるなど、参加体験型の内容となるように留意した。

なお、中央区のヒグマ講座は、円山動物園を会場として、飼育員や獣医師等の動物園スタッフとの協働体制で実施した。

3-4-2 ヒグマ講座の検証

開催したヒグマ講座の効果の検証等のためにアンケート調査をおこなった。

【アンケート調査概要】

■調査方法と調査項目

ヒグマ講座参加者にアンケート調査票を配布し、講座終了後に回答をお願いし、回収した。

調査票は、大人用、児童用、2タイプ作成した。なお、児童のアンケート対象は4年生以上とした。

アンケート内容として、以下の項目を設定した。

- ・回答者の属性：居住地、年代、森林散策や山菜取り等に出かける頻度
- ・ヒグマ出没箇所の認識度（住宅地に近い山林にもヒグマが出没することの認識の有無）
- ・出没情報の情報源、入手先
- ・講座による新たな知識習得の有無
- ・ヒグマの習性や安全対策に関する情報を得る場合に希望する媒体
- ・ヒグマ講座に関する感想、意見、要望等

児童用アンケートについては、以下の項目を設定した。

- ・ヒグマ出没箇所の認識度（札幌市内におけるヒグマの生息、ヒグマ出没認識の有無）
- ・出没情報の情報源、入手先
- ・ヒグマ講座のなかでおもしろかった話、内容、もしくは新たに知ったこと
- ・感想

3-4-3 ヒグマ講座の開催結果

ヒグマ講座は、7月下旬から11月上旬にかけて、以下のように合計8回開催した。

表 3-4-1 ヒグマ講座開催結果

区	開催日	時間帯	場所	対象・参加者	参加者数・内訳
南	7月21日 (木)	15:30~17:00	南区役所会議室	南区内の小中学校管理職・教諭	24人
手稲	7月26日 (火)	18:30~20:00	手稲区民ホール 大会議	広報さっぽろによる公募 区民	49人 50~70代が主
南	7月28日 (木)	18:00~19:30	南区役所会議室	藻岩、石山、芸術の森、藤 野、簾舞、定山溪の町内会 役員	24人 60~70代が主
中央	9月15日 (木)	9:30~11:30	円山動物園 動物科学館 バックヤード(ヒグマ飼育舎) エゾヒグマ館 エゾシカ・オオカミ舎	大倉山小(4年生2クラス) 荒井山、宮の森こぶし、円山 西町、上盤溪、盤溪下町の 町内会	町内会 15人 小学4年生69人
清田	9月27日 (火)	18:30~20:00	清田区民センター 集会場2-3	広報さっぽろによる公募区 民 有明地区町内会	一般公募 5人 町内会等 14人
豊平	10月15日 (土)	1回目10:30~11:00 2回目11:30~12:00 3回目13:30~14:00	西岡公園管理事務所	西岡公園利用者 西岡公園近隣町内会	1回目 おとな15人小学生1人 2回目 おとな11人小学生2人 3回目 おとな16人
西	10月28日 (金)	15:00~16:30	宮丘小学校視聴覚室	宮丘小学校児童の保護者・ PTA・近隣町内会	おとな44人、子ども4人
西	11月2日 (水)	全校朝礼 9:20~9:50	西野第二小学校体育館	西野第二小学校(児童)、教 職員	約800人 全校児童789人ほか教職員

【ヒグマ講座アンケート調査結果のまとめ】

7月から11月にかけて8回開催したヒグマ講座は、小学生から町内会役員、学校関係者等、一般市民と、対象や開催方法は多岐にわたった。そのため、参加者へのアンケート結果等を同一に比較することはできないが、「講座で新たに知った知識等の有無」については、「あった」とする回答者が毎回7割を超えており（小学生を除く）、ヒグマ講座がヒグマの生態や対応策の知識普及に一定の役割をはたしたと考えられる。また、小学生を対象としたヒグマ講座では、楽しみながらヒグマの生態や遭遇時の対応を知ることができたのではないかとの感触を得ている。

ヒグマについて新たに知った知識として、ヒグマの食性や行動習性、遭遇時の対応方法、フンなどの痕跡の見分け方などをあげる回答がアンケートで目についた。これらの知識や情報を広く市民に伝えていく必要性があらためて確認された。

また、手稲区、豊平区、西区で開催したヒグマ講座では、ヒグマの基礎知識や対策を知る手法や媒体として、「講座・研修会」を希望する回答が一番多く半数を超えていた。参加者の特性とも関係するとは思われるが、ヒグマ講座の開催需要が高いことがうかがわれた。

3-4-4 ヒグマに関する普及啓発の課題等

【多様な媒体による情報提供】

講座参加者のアンケート結果から、比較的高齢者が多い回答者グループでは、出没情報をインターネットで入手する割合が少ない傾向にあった。インターネット以外の印刷物や仮設式看板、町内会の活用等、多様な媒体・手法による情報提供が必要と考えられる。

これまで、札幌市ではヒグマに関するリーフレットが印刷され配布されることがなかったことから、各区役所や市民が必要に応じて、インターネットサイトより出力して使用できるリーフレットを作成した。このリーフレットは本事業で作成したホームページでダウンロードできる。このことにより、区役所や町内会等、主要機関が必要なときに出力して配布することが可能となった。

【小中学校関係者の研修会開催】

今回実施した8回のヒグマ講座のうち、2回は学校関係者を対象に実施した。児童生徒の安全管理を担う学校関係者にとって、ヒグマの出没情報だけではなく、ヒグマの生態や対処法等の知識の習得は欠かせない。そこで、札幌市内小中学校の教職員を対象に、年1回程度ヒグマに関する研修会を開催することを提案したい。小中学校の教職員を通じて、ヒグマについての正しい知識が児童生徒へ伝えられるとともに、その児童生徒を通じて、その家族、保護者へも広まっていくことが期待される。